

主催 林野庁・森林づくり全国推進会議

森林づくりシンポジウム 2026

2026年10月29日(木) 12:35～17:00 開場12:10

2050年ネット・ゼロ社会の実現、ネイチャーポジティブの実現、山村地域の活性化に向けて、企業や国民による森林づくりを進めるとともに、森と人、山村と都市をつなぐ取組を拡大していくことが重要です。そのため、こうした取組の機運を醸成することを目的に、林野庁が本年創設した「森業アワード」の表彰式と「森林づくり全国推進会議」を共同開催し、先進的な取組を行う企業等による事例発表やパネルディスカッションを実施します。

開会 12:35 司会 2025 ミス日本みどりの大使 佐塚こころ 定員 200 名

I 12:40～13:40

01 森業アワード2026表彰式(林野庁)

グランプリ・優秀賞受賞者の表彰

02 サザエさん一家の“もりのわ”話 吹き出しコンテスト表彰式

優秀作品 4 作品の表彰

II 13:50～15:35

第5回 森林づくり全国推進会議

会員の活動事例報告 / 話題提供 / 高校生による
SDGsアイデアの発表/取りまとめ(櫻田 謙悟 会長)

III 15:45～17:00

シンポジウム

パネルディスカッション

交流会 17:00～17:30

会場・アクセス

木材会館 7F 大ホール

- 東京都江東区新木場1-18-8
- JR京葉線/東京メトロ有楽町線/りんかい線「新木場駅」から徒歩3分



申込

締切: 2026年10月26日(月)

※参加無料、事前申込制

1 WEBフォーム

<https://forms.cloud.microsoft/r/XAVB5vrQkm>

又は

2 E-mail

【件名】に シンポジウム、
【文面】に ①氏名 ②ふりがな ③勤務先/所属団体 ④部署・役職名 ⑤連絡先(TEL・E-mail)を記載し、【受付メールアドレス】entry@green.or.jp に送付。



【お問合せ】森林づくり全国推進会議(☎03-3262-3883 国土緑化推進機構内)

森業アワード・サザエさん吹き出しコンテスト表彰式、シンポジウム(☎03-6744-2409 林野庁森林利用課)

12:10 開場

12:35 開会

12:40 表彰式

① 森業アワード2026



森業アワードとは

森林を多様な形で活用する「森業（もりぎょう）」の優れた取組を行う企業・自治体・NPOなどを表彰・発信する顕彰制度です。

② サザエさん一家の“もりのわ”話吹き出しコンテスト

森林（もり）の環（わ）とは

「森は海の恋人」という関係性のもと、海にゆかりのある「サザエさん一家」に「森林の環（もりのわ）応援団」を委嘱しています。豊かな森林を育む「伐って、使って、植えて、育てる」という森林資源の循環利用（＝環）を広く伝えます。



©長谷川町子美術館

13:50 第5回森林づくり全国推進会議

Ⅰ 会員の活動事例報告



(株)ロイヤリティマーケティング
佐藤 智仁 氏



佐賀市役所
山口 和海 氏

Ⅱ 話題提供（林野庁）

林野庁 森林利用課長 増山 寿政

「SDGs QUESTみらい甲子園」 高校生アクションアイデア発表

岐阜県立岐山高等学校 / 滋賀県立虎姫高等学校

森林（もり）づくり全国推進会議とは

森林づくりを通じたSDGsやカーボンニュートラルの実現に取り組む企業・団体の輪を広げるとともに、各企業・団体による具体的な森林づくりを展開していきます。



15:45 シンポジウム

パネルディスカッションテーマ

「調整中」

17:00 閉会・交流会

SYMPOSIUM シンポジウム

モデレーター



皆川 芳嗣 氏

(一社)日本農福連携協会 会長理事

2010年林野庁長官、2012年農林水産事務次官を歴任。2017年に開校した兵庫県森林大学の名誉校長に就任。2026年に新たにスタートした「森業アワード」の審査委員を務める。

パネリスト

森業アワード2026 受賞者

審査中

森業アワード2026 受賞者

審査中

森業アワード2026 受賞者

審査中

森林づくり全国推進会議会員

佐藤 智仁 氏

(株)ロイヤリティマーケティング
コンシューマサービスグループ サービスプロダクト本部 エキスパート

ロイヤリティマーケティングは、1億人超のPonta会員とともに、豊かな未来を子どもたちに残せるよう、サステナビリティ活動を推進しています。

コメンテーター



林野庁 森林利用課長 増山寿政

森業 って何？

「森業」とは、森林浴やトレイルライド等の森林空間利用、林業体験や企業研修等のフィールド提供、J-クレジットや未利用資源の活用等、森林のもつ社会経済的価値や環境価値を活かした取組で、関係人口の創出・拡大、ウェルビーイングの向上、森林経営の収入源の多角化などを目的とするものです。

